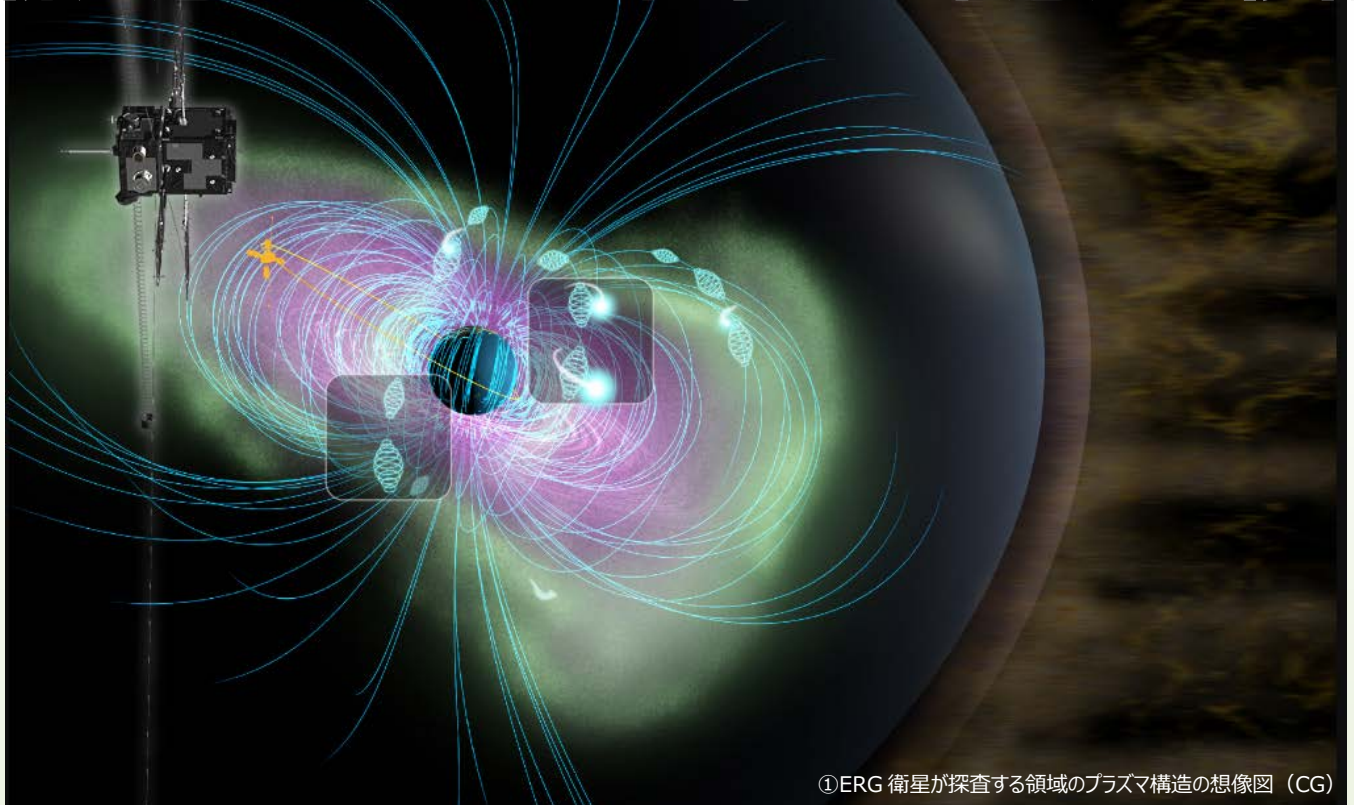


# ジオスペース探査衛星「あらせ」(ERG)、 初期運用フェーズを終了し定常運用へ移行



①ERG衛星が探査する領域のプラズマ構造の想像図 (CG)

ERG衛星は地球を取り巻く放射線帯(ヴァン・アレン帯)の中で粒子を捕らえ、その場の電磁波を観測する

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、昨年12月に内之浦宇宙空間観測所から打ち上げられたジオスペース探査衛星「あらせ」(ERG)を、定常運用に移行すると発表しました。

「あらせ」は打ち上げ後、軌道上での衛星システムの機能・性能を確認してきました。このたび全観測機器の立ち上げが完了したこと、観測計画ツール類の動作が確認できていることから、初期運用フェーズを終了して、定常運用に移行することになりました。

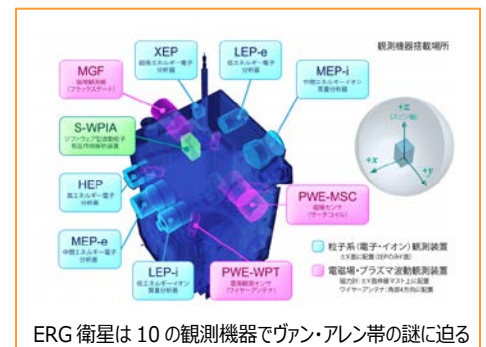
今後、「あらせ」は、人工衛星にとって過酷な放射線帯中心部で、高エネルギー電子が生まれる過程を世界で初めて観測する予定です。

篠原育プロジェクトマネージャからのメッセージ

昨年12月20日の打上げから3ヶ月余り、「あらせ」衛星はヴァン・アレン帯における高エネルギー粒子環境を探査するための準備を進めて参りましたが、9つの搭載観測機器を全て順調に立ち上げることができ、いよいよ計画通りの定常観測を開始致しました。

「あらせ」が定常観測を開始してまもなく、全観測機器が稼働している状態ではじめての磁気嵐を観測しました。「あらせ」がもたらす新たな科学データへの期待の高まる、幸先の良い出だしとなりました。これからは「あらせ」と海外の科学衛星や国内外の関連研究機関が整備してきた地上観測ネットワークと連携して、ヴァン・アレン帯の謎に世界中の研究者とともに挑んで参ります。

思い返せば1年前には「ジオスペース衛星 ERGにあなたの応援メッセージを載せよう！」キャンペーンを通して、多くの方々から暖かい応援メッセージを頂きました。皆様からの応援を励みに「あらせ」衛星による世界最先端の科学成果をご報告できるように関係者一同、頑張参りますので、今後とも「あらせ」を暖かくお見守りいただければ幸いです。



ERG衛星は10の観測機器でヴァン・アレン帯の謎に迫る

さらに詳しく知りたい方はコチラ



ジオスペース探査衛星(ERG) / イプシロンロケット2号機特設サイト(ファン!ファン!JAXA)  
<http://fanfun.jaxa.jp/countdown/epsilon2/>

Spacei宇宙かわら版 2017年3月31日号

※「Spacei」はJAXAとJSFの共同事業です

問い合わせ先: Spacei事務局(一般財団法人日本宇宙フォーラム)

ホームページ: <http://www.spaceinfo.jp/> お問い合わせ: [https://www.science-event.jp/event/spacei\\_contact/](https://www.science-event.jp/event/spacei_contact/)

※特に断りのない限り日付は日本時間です。画像の出典: すべて JAXA

Spacei